

FM 実践事例の解説

株式会社 NTT ファシリティーズ FM 事業本部 技術部 統括主査： 北林 泰彰
建築学科 3 年次対象 担当教員： 大西 康伸

実施概要

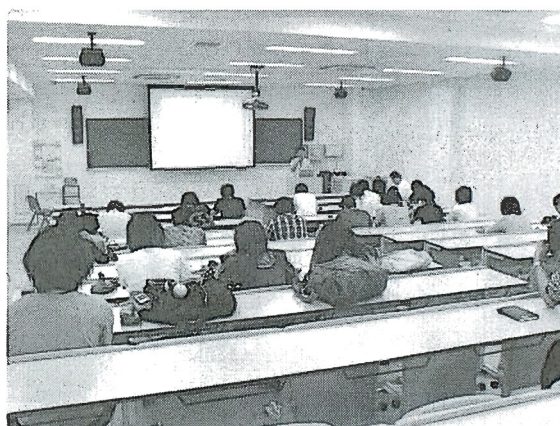
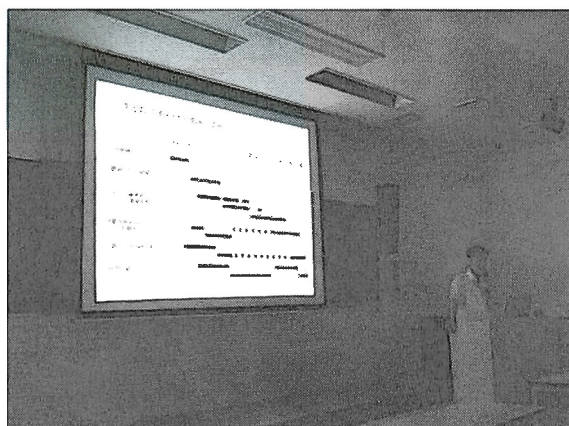
2008 年 7 月 4 日 (金) に、建物に関わるマネジメントについてご講演いただいた。「建物に関わる人たちは、計画・設計・工事・・・などの建物を“つくる”ということだけに注意を払いがちであるが、それ以外にも考えるべきことがたくさんある」ことを学生に知ってもらうことが、本特別講演の狙いである。講演内容が建築の経済に関わる側面についての実践的業務に関する話であることから、3 年生に加えて建築系の 4 年生や建築マネジメントを学ぶ大学院生も受講を可能とした。受講者は学部生 15 名、大学院生 10 名、教員 2 名であった。

京都府庁舎および京都府の所有する不動産管理への FM 導入に携わられた経験をもとに、実践的な FM 業務を詳細かつ非常にわかりやすく解説いただいた。FM の啓蒙、導入計画、キーパーソンとのコミュニケーション、自治体が直面する財政問題など、今後どの組織でも解決していかねばならないことに対するヒントが随所にあり、あっという間の 90 分であった。

講演終了後の質疑では、大学での建築教育において普段話題にされることの少ない「施設マネジメント」がテーマであったことが手伝って、活発な議論がなされた。

学生の感想文

- ・ FMと言われてもピンと来なかった私でも今回の話はとてもわかりやすく、理解できた。FM職員として北林さんが行ってきたことは、FM研修、事例紹介、などテクニカルな領域の支援、FM取り組みに必要な情報の明確化、超えるべき目標の細分化、具体化であるという。
- ・ この講義の中で、最も印象的だったのは、オフィスの面積の話であった。それぞれのオフィスでもっとも効率よく仕事ができるような環境を作るために、いろいろな工夫があって驚いた。
- ・ FMとはどういうものなのか。建物・土地に関してある一定の品質を守り、そしてコストを最小化するということだそうだ。FMという仕事を知ることができ、FMは大事な仕事なのだと思った。



講演の様子